



## ソロモン諸島 (Solomon Islands)



- ソロモン諸島への援助総額は2014年度までに累計362.5億円。
- 独立前の1977年に経済協力を開始。1998年末から激化した部族間抗争による治安の悪化により二国間援助を一時停止し、抗争が終結した2004年に支援を再開。無償資金協力や技術協力を通じ、主要ドナー国としてソロモンの開発に大きく貢献。

### 国概要

#### (基礎データ)

- 面積: 28,900平方キロメートル(岩手県の約2倍)
- 人口: 58.4万人(2015年)
- 首都: ホニアラ(人口約6.5万人)
- 民族: メラネシア系(約94%), ポリネシア系, ミクロネシア系
- 言語: 公用語は英語, 共通語はビジン英語
- 宗教: 人口の95%以上がキリスト教
- 政体: 立憲君主制
- 議会: 一院制(50議席)
- GDP: 11.56億ドル(2015年)
- GNI: 一人あたり 1,940ドル(2015年)
- 経済成長率: 3.3%(2015年)
- 失業率: 3.8%(2015年)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

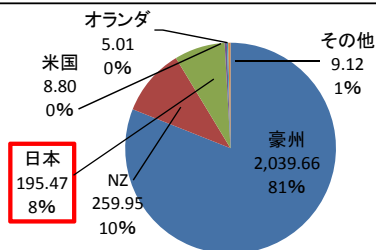
1568年	スペイン人メンダナ、サンタ・イザベル島に來航
1893年	英国、南ソロモン諸島を保護領と宣言
1900年	英国、独より北ソロモン諸島を取得
1942年	日本軍、ソロモン諸島を一時占有
1943年	激戦の末、日本軍撤退
1943年	英国保護領に戻る(1950年まで米軍駐留)
1976年	「ソロモン諸島」として自治政府樹立
1978年7月	英国から独立

### 援助実績

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
無償資金協力	250.76億円 (2014年度までの累計)
技術協力	111.70億円 (2014年度までの累計)
青年海外協力隊	374人 (2016年7月までの延べ人数, 2016年7月時点で23人)
シニア海外ボランティア	16人 (2016年7月までの延べ人数, 2016年7月時点で5人)

出典: ODA国別データブック2015  
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)  
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

### ソロモンへの主要ODA供与国 (1995年~2014年累積, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



### 経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からソロモンへの輸出	1664億円 (2015年, 財務省貿易統計)
ソロモンから日本への輸出	1085億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在ソロモン日系企業数	4社 (2015年10月時点, 外務省進出日系企業数調査統計)

### 人的つながり

項目	人数(直近年)
ソロモンにおける在留邦人数	91人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日ソロモン人数	41人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
ソロモンから日本への留学生数	14名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)
日本からの遺骨収集関係来訪者数	47人(2015年, 外務省)
ソロモンから日本への訪問者数	201人(2015年, 外務省)

## 日本とソロモン諸島との協力年表

年代	案件
1978年	ソロモン独立と同時に国家承認
1978年	青年海外協力隊派遣取極締結
1978年	日・ソロモン漁業協定締結 無償協力: 沿岸漁業振興センター設立計画
1980年	在バブアニューギニア大使館が在ソロモン大使館を兼轄 臨時代理大使が常駐
1990年	駐日ソロモン名誉領事館を開設
1991年	初の草の根・人間の安全保障無償資金協力を実施
1995年	水産無償: ホニアラ中央市場整備計画(7.85億円)
1996年	無償資金協力: ヘンダーソン国際空港整備計画(18.26億円)
1997年	第1回太平洋・島サミット(日・SPF首脳会議)を開催(以降3年毎に太平洋・島サミットを開催, 2010年から3年毎に中間関係会合を開催)
2005年	無償資金協力: ホニアラ電力供給改善計画(7.06億円)
2006年	無償資金協力: ガダルカナル島東部橋梁架替計画(9.13億円)
2008年	技術協力協定締結
2009年	無償資金協力: ギゾ病院再建計画(19億円)
2009年	無償資金協力: ホニアラ市及びアウキ市給水設備改善計画(20.9億円)
2009年	第5回太平洋・島サミットにて発表された「北海道アイランダーズ宣言」を踏まえ、「太平洋環境共同体(PEC)」構想実現のためPEC基金(68億円規模)を設立
2010年	無償資金協力: 防災ラジオ放送網を改善
2014年	無償資金協力: ホニアラ港施設改善計画(26.81億円)
2015年	無償資金協力: クム幹線道路改善計画(31.88億円)
2016年	駐ソロモン特命全権大使が常駐

ソロモンに対する経済協力を開始。

教育・医療施設の建設や給水施設の整備等を実施。



同国唯一の国際空港であり、また国内航空路線網の中心でもあるヘンダーソン国際空港(現ホニアラ国際空港)の国際線旅客ターミナルビル、旅客エプロンや誘導路の新設などを支援。

2007年の地震・津波により被害を受けた病院の移転新築と医療機材の調達を行い、医療サービスの改善及び災害時の医療サービス提供拠点の確保を支援。

取水施設の改善、新規水源の確保、送配水管の整備、及び給水施設の運転・維持管理委員への技術指導を支援。



クム幹線道路の改修、2014年4月の洪水により被害を受けた新マタニコ橋の改修・拡張、旧マタニコ橋の架替など災害に強いインフラ整備を支援。